

バイオタイプ分子間カプローブ顕微鏡／MFP-3D-BIO-J 使用規定

- 使用する際には、装置メーカーの開催する講習会に必ず参加すること。講習会に出席していない研究室は原則として使用することができません。
- 毎月二回（1日と15日前後）、予約優先順位を決めるためのくじ引きを大塚研究室で行なっています。詳しい日程は問い合わせること。このくじ引きなしで日中（10:00～22:00）の装置利用に関する予約をすることはできない。（この運用は今後の混み具合で変更あり）
 - ・くじ引きには遅刻しないように。遅刻した場合、予約は認めない。
 - ・予約は午前・午後単位で行う。半月のうち一研究室当たり2日分まで（日中分の予約のみ）。
- 予約優先順位後、その日のうちに仮予約した日程をこの予約システムで入力してください。入力後に予約完了とします。くじ引きから3日以内に入力が無い場合にはキャンセルとみなします。
- 予約のキャンセルは予約日の前日までにすること。キャンセルによって空きが生じた場合、使いたい研究室は大塚研究室に連絡後、予約できる（このときも必ず予約システムに書き込むこと）。

MFP-3D-BIO-J を使用するにあたって、次の事項に関しては特に気をつけること。

1. 使用の際、講習会に出席した者（オペレーター責任者）が適切な指導を行った後、大塚研究室担当者の技術確認を終了した者のみ、使用可能とする。（オペレーター責任者は各研究室の指導教員から指名を受ける）
2. 使用原則
 - (1) 原則として、基本を理解し、マニュアルをしっかりと勉強してから操作する。
 - (2) 現在搭載されている測定モードと異なる測定など特殊測定を行いたい時は事前に装置担当教員（大塚）に申し出ること。
3. トラブルを放置しない
4. トラブル時の対応
 - (1) 各研究室のオペレーター責任者に連絡すること。

(2) オペレーター責任者は

- i) トラブルを確認する。
- ii) 当該使用者がルールに則り測定を行っているか確認する。
- iii) オペレーター責任者一人で対処しきれない場合は大塚(5764)、大塚研の装置担当学生(5772)に連絡すること。

また、直接装置業者とトラブル復帰の手続きを進めないこと。

5. 利用者の不手際によるトラブルと判断した場合、使用者に始末書の提出を課している。担当教授の印鑑を添え、必要事項を記入して大塚研究室まで提出すること。

6. 使用後には使用記録ノートに【氏名、所属研究室、使用開始時間・終了時間・使用累計時間】を記入すること。

7. 初歩的な注意事項

- (1) 防振台に供給されるガス圧力をチェックすること。
- (2) 測定後の整理整頓を行うこと。測定データを残しっぱなしにせず、測定後は必ずデータは持ち帰ること。定期的にPCに残ったデータは清掃する。
- (3) カンチレバーホルダー，スキャナの取り扱いに注意すること。

8. 飲食物の持込を固く禁止する。

9. 使用料金

SPM を使用した時間に応じて使用料を頂きます。カンチレバーは各研究室で購入してください。事故或は故障を起こした際にはその事故・故障原因の程度を鑑みて別途復旧費用を請求させていただきます（経年劣化は除く）。